



平成22年10月27日

各 位

上場会社名 第一工業製菓株式会社
 代表者 代表取締役社長 大柳 雅利
 (コード番号 4461)
 問合せ先責任者 取締役財務本部長 浦山 勇
 (TEL 075-323-5955)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年8月11日に公表した平成23年3月期 第2四半期累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）及び通期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の連結及び個別の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,600	1,100	1,000	470	12.04
今回修正予想 (B)	25,400	1,520	1,390	430	11.02
増減額 (B-A)	800	420	390	△ 40	
増減率 (%)	3.3	38.2	39.0	△ 8.5	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	21,341	510	263	66	1.72

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	48,000	2,000	1,800	800	20.49
今回修正予想 (B)	50,000	2,500	2,300	800	20.49
増減額 (B-A)	2,000	500	500	0	
増減率 (%)	4.2	25.0	27.8	0.0	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	44,352	1,575	1,239	503	12.89

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,900	730	700	250	6.40
今回修正予想(B)	19,300	1,030	960	180	4.61
増減額(B-A)	400	300	260	△ 70	
増減率(%)	2.1	41.1	37.1	△ 28.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	17,187	324	161	70	1.81

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,500	1,300	1,200	500	12.81
今回修正予想(B)	38,500	1,670	1,650	430	11.02
増減額(B-A)	0	370	450	△ 70	
増減率(%)	0.0	28.5	37.5	△ 14.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	35,207	925	814	433	11.11

修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の業績予想の修正

第2四半期累計期間の連結及び個別の業績につきましては、自動車や家電関連及び電子材料関連の需要が想定以上となりましたことから、売上高が前回予想から増加しております。利益面につきましても、ナフサ価格の高騰による原材料費の増加も想定内に止まり、全社あげて取り組みしております総経費削減活動の成果などもあり、営業利益、経常利益はいずれも前回の予想を上回る見通しとなりました。また、四半期純利益は第2四半期末において株価が大幅に下落しましたことから、別途公表しておりますとおり投資有価証券評価損を3億87百万円計上しましたことから若干下回る見通しとなりました。

(2) 通期の業績予想の修正

経済環境としましては、円高に加え欧米などの景気減速懸念や原油、ナフサ価格をはじめ資源価格の高騰など不確定な要素を数多く抱えており予断を許さない状況となっております。

通期の連結及び個別の業績につきましては、概ね第2四半期累計期間の業績修正に伴うものであり、売上高、営業利益、経常利益はいずれも前回の予想を上回り、当期純利益は、若干下回る見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上